

このまちの100年

「新潟」

新潟は江戸期に西回り航路が整備されると日本海側最大の港町になりました。明治期に入ると開港し国際貿易の拠点に。また県庁所在地として県の行政の中心地となり、現在まで発展を続けています。



大正期

新潟市内では六斎市をはじめとする朝市が各所で開催されていた



昭和10年頃

昭和10年に誕生した、国鉄(現在のJR)新潟駅の二代目駅舎



昭和30年頃

雁木(アーケード)の商店街が続く古町付近



昭和30年代

古町十字路付近の夜景



昭和30年代

信濃川に架かる三代目萬代橋は昭和4年に竣工した



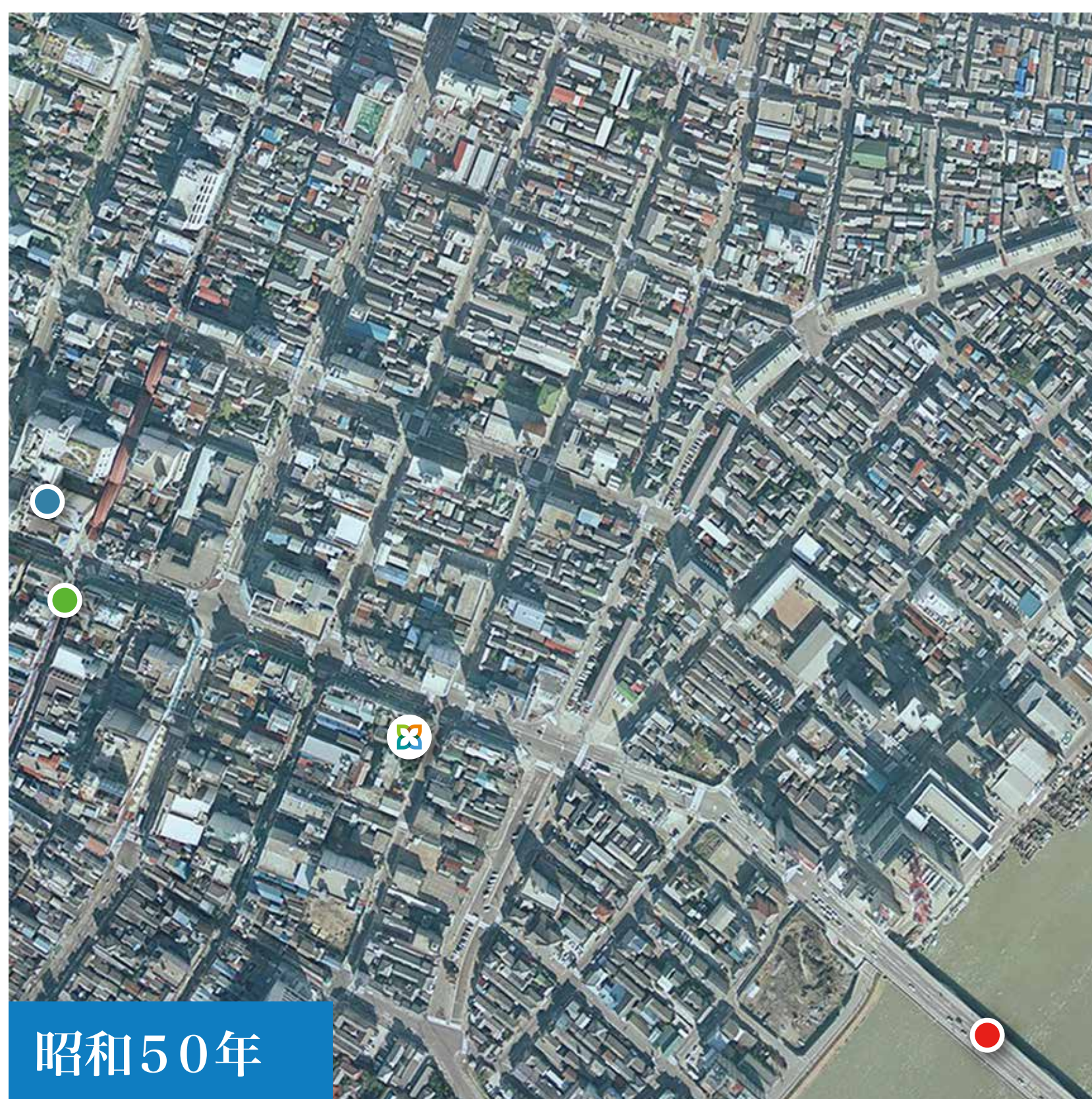
昭和30年代

昭和33年に完成した三代目の新潟駅と、新潟駅前大通り

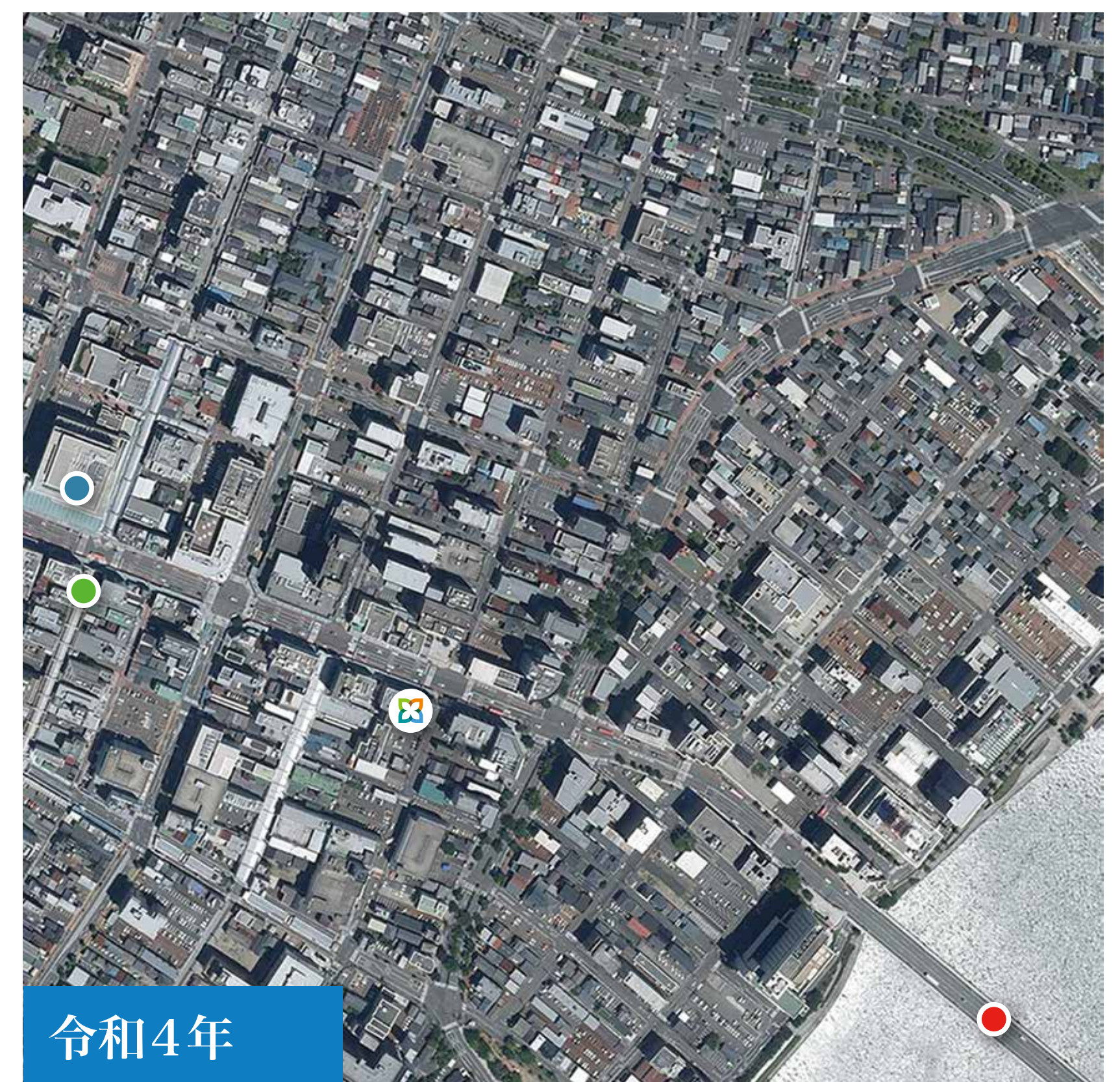
上空からみた新潟エリア



昭和21年



昭和50年



令和4年

 : 現在地
 : 新潟大和/古町フル  : 古町通/ふるまちモール  : 萬代橋

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ